

量子コンピュータの実活用に向けた共同研究を本格化 リクルートコミュニケーションズとD-Wave Systems Inc. 研究成果を2017年6月開催のAQC2017にて発表

株式会社リクルートコミュニケーションズ（本社所在地：東京都中央区、代表取締役社長：清水 淳 以下、リクルートコミュニケーションズ）は、D-Wave Systems Inc.（所在地：British Columbia, Canada. CEO: Vern Brownell）と、量子コンピュータの実活用に向けた共同研究を進めてまいりましたが、このたび、その研究成果の一部を「Adiabatic Quantum Computing Conference 2017」（以下、AQC2017）にて発表いたしますのでお知らせいたします。

概要

リクルートコミュニケーションズは、リクルートグループにおいて、顧客の集客ソリューションからWebマーケティング、メディアの制作・宣伝といったマーケティング・コミュニケーションの業務を担っています。特に近年は、広告配信の最適化などマーケティングテクノロジーの技術開発に注力しており、様々な手法の研究を通じてマーケティング効果の最大化を目指してきました。その一環として、量子アニーリングを用いたデータ分析手法の理論構築及びプログラムの実装、本手法を実データに適用し考察することで、量子アニーリングを産業に応用したマーケティング・コミュニケーションのさらなる最適化を進めております。

●共同研究について

リクルートコミュニケーションズと、量子コンピュータを世界で初めて商用化したD-Wave Systems Inc. は、2016年より、量子コンピュータの実活用に向けた共同研究およびシステム開発に取り組み、Web広告分野における広告と消費者のマッチング効率を最適化するための研究や、レコメンド（推薦）に代表される機械学習手法の精度向上を企図とした研究など、複数の研究プロジェクトを進めております。その共同研究の成果の一部について、このたび、量子アニーリングに関する世界トップクラスの研究報告国際会議AQC2017（2017年6月26日～29日、東京都千代田区）にて発表することが決定いたしました。

AQC2017 公式サイト <http://www.smapip.is.tohoku.ac.jp/~aqc2017/>
本会議への参加申し込み・詳細情報・お問い合わせは上記公式サイトよりお願いします。

用語解説

量子アニーリング

量子アニーリング(Quantum Annealing)は、最適化問題を解くための一つの手法であり、量子効果を使った情報処理によって最適化問題を解くものです。量子アニーリングは特に多数の局所解を持つ非線形最適化問題に優位性があると言われており、自然言語処理やマーケティングテクノロジーにおけるクラスタリング処理など、多くの場合、最適化問題として定式化される機械学習に対しても効果的であると考えられています。

【報道関係者お問い合わせ先】

株式会社リクルートコミュニケーションズ： <https://www.rco.recruit.co.jp/contact/>